

平針の歴史についてのページ 近現代

1868年、元号が明治に改められ、明治維新が成功して、以後日本の近代化が進んでいきますが、近代化への下地はそれ以前から準備が進んでいました。

文化11年（1814年）に駿河街道に大川橋（現在の天白橋）が架けられました。

弘化2年（1845年）に平針の神官の連伴雄が寺子屋を開設しました。これは明治2年まで続きました。

（慶応3年（1867年）大政奉還・王政復古の大号令）

（慶応4年、明治元年（1868年））

明治元年（1868年）天白川より取水する新用水が完成しました。須賀弥蔵の発起で作られました。秋葉山慈眼寺に顕彰碑が立てられています。



明治 6 年には平針郵便局が開設。小学勧道学校という小学校の前身もできました。

明治 9 年には赤池村と合同で「平池学校」が秀伝寺に開設。

(明治 10 年、西南戦争)

明治 20 年頃から馬市が 2 月と 9 月に定期的に開かれるようになつたり、亜炭の採掘が始まつたりしています。

亜炭とは、褐炭の一種で、石炭になりかけの植物の化石です。水などの不純物が多く、製鉄や工業用の燃料にはなりませんが、「岩木・イワキ」とも呼ばれ、家庭用の燃料として重宝されました。しかし、煙や臭いはひどく、石油やガスが簡単に入手できるようになると使われなくなりました。この地方ではおおむね 1,600 万年～100 万年前の地層に含まれています。東海湖が存在した時代と重なります。

(明治 22 年、大日本帝国憲法発布、翌 23 年、教育勅語発布)

明治 24 年に濃尾地震が起つり、大きな被害が出ましたが、これ以後、平針の地でも養蚕が盛んになり、重要な産業になります。

生糸は戦前の日本にとって一番重要な輸出品でした。当時の欧米では帽子、ストッキング、などの消耗品に大量のシルクを必要としていました。

明治 26 年に秋葉山慈眼寺の本堂が再建されました。

(明治 27 年～28 年、日清戦争)

明治 35 年に農商銀行代理店が開店しました。

(明治 37 年～38 年、日露戦争)

明治 39 年に平針・植田・島田・野並・弥富（八事）の各村が合併して「天白村」が発足しました。「天白」の名前は、村の中央部を天白川という川が流れていることから名付けられました。「天白」とは、東海地方で信仰されている神で、星神・水神・安産祈願ともされ、風水害除けのため川端など低地に祀られることも多く、天白川端では緑区の東海道天白橋付近にありました。現在この神社は、緑区成海神社の摂社として祀られています。

明治 40 年頃、名古屋～挙母間に平針を通る乗合馬車が開通しました。

明治 45 年に、平針にあった天白郵便局で電信電報業務が開始されました。



(明治45年、大正元年（1912年）中華民国成立、清王朝滅亡）

（大正3年～7年、第一次世界大戦）

大正6年（1917年）平針に電気が引かれ、電灯が点くようになりました。

（1917年、ロシア革命）

（大正8年、ベルサイユ条約、スペイン風邪流行）

大正15年に熱田～平針間にバス路線が開通しました。日本通運という会社です。

（大正15年、昭和元年（1926年））

昭和4年（1929年）には尾三バス（後に名古屋鉄道に吸収）が、名古屋～挙母間と名古屋～足助間にバス路線を開通しました。

昭和2年に金融恐慌が起こって、農村も大不況になりました。この時、農商銀行も破産しています。

（1929年、世界恐慌）

（昭和6年（1931年）、満州事変）

（昭和12年～20年、日華事変）

(昭和14年～20年、第二次世界大戦)

(昭和16年～20年、太平洋戦争)

昭和20年（1945年）、戦争による空襲が激しくなり、秀伝寺・平針分教場などが焼失しました。

昭和22年、農地改革が行われ、平針では、自作農地230町歩、小作農地77町歩となりました。（1町歩は約100m四方）

農地改革とは、地主が所有していた農地を、国が安く買い上げて、その農地を耕作していた小作農に払い下げるという改革です。

同じ年、天白橋からわたや呉服店前まで、幅員16mの飯田街道新道が建設されました。

昭和27年には天白橋が架け直されました。この時はまだ木造でした。

昭和29年になると飯田街道が、二級国道153号線名古屋塩尻線として指定されました。

昭和30年に天白村が名古屋市に合併し、昭和区天白町大字平針となりました。

この年に平針小学校が天白小学校から独立し、天白村立平針小学校になり、向ノ山（伝兵衛山）に新校舎が建てられました。そして名古屋市合併に伴って名古屋市立平針小学校になりました。また、平針分教場は、秀伝寺経営の保育園になりました。

同じ年、平針木造り音頭が、名古屋市指定無形民俗文化財に指定されました。

この頃の戸数は426戸だったそうです。また、水道も引かれました。



昭和33年に天白橋が鉄筋コンクリート造で架け替えられました。

(昭和34年(1959年)、伊勢湾台風)

(昭和35年、日米安保条約改定、所得倍増・高度成長政策発表)

昭和37年に天白電報電話局ができました。現在のNTT西日本天白電話交換所です。

また同じ年、東海学園女子高等学校が開校しました。

(昭和39年、東京オリンピック、名神高速道路・東海道新幹線開通)

昭和39年に県営平針住宅ができました。一気に2000戸の入居がありました。

昭和40年に愛知県運転免許試験場が移転してきました。同じ年、名古屋市農業センターも開設されました。また、国道153号線が一級国道に昇格しました。



119 農業センター
昭和50年代
農業センターを上空から撮影した写真です。農
業技術の試験研究の場であるとともに、ウシ・ヒ
ツジの放牧場、園芸施設、芝生広場、約700



昭和41年に天白郵便局が植田に新設され、元の場所は「平針郵便局」となりました。

昭和42年に向ノ山土地整理組合が発足しました。平針地区も本格的に宅地造成される時代を迎えます。

昭和43年に、今度は原土地整理組合が発足しました。

(昭和44年、東京大学安田講堂事件、東名高速道路開通)

昭和45年に引き続き平針土地整理組合が発足しました。またこの年、字小田から大根橋に至る道路(幅25m)、小田から字欠下に至る飯田街道バイパス(幅25m)、岡崎街道バイパス(幅20m)が開通しました。

昭和46年に市営原住宅が完成しました。209戸の入居でした。

(昭和47年、沖縄返還、日中共同声明、浅間山荘事件、札幌冬季オリンピック)

(昭和48年、第四次中東戦争・石油ショック)

昭和48年に市営平針西住宅が完成しました。211戸の入居でした。

またこの年、平針中央土地整理組合が発足しました。

この年の平針の住民は、1370戸13,018人でした。

昭和49年に名古屋市立平針南小学校が独立しました。

この年名古屋市営の市電が廃止されました。

(昭和50年(1975年)、第一回先進国首脳会議参加)

昭和50年、天白区が発足しました。名古屋市が16区になり、天白区と名東区が増えました。天白区天白町大字平針字・・・と表記。

平針南住宅が完成しました。186戸の入居でした。



103 飯田街道(平針)
昭和50年

つなげ未来へ。つなげ天下

昭和51年に平針中学校が開校しました。

この年、平針小学校が、野生鳥獣保護で文部大臣賞を受賞しました。

針名神社の本殿が鉄筋コンクリート造りで造営されました。

昭和53年に地下鉄鶴舞線八事～赤池間が開通しました。同時に平針駅にバスターミナルも開設されました。



143 鶴舞線開通記念式典
昭和53年

つなげ未来へ。つなげ天下

昭和 54 年に名鉄赤池～豊田市間が開通し、地下鉄鶴舞線と名鉄豊田新線の相互乗り入れ運行が始まりました。

昭和 55 年に原小学校が独立しました。

この年、秋葉山慈眼寺の参道が完成しました。また平針公民館（現旧公民館・元消防団詰所）が竣工しました。

この頃からマンションの建設ラッシュが始まりました。

（昭和 58 年、任天堂ファミリーコンピューター発売）

（昭和 60 年、NTT・JT 発足）

昭和 60 年に名古屋記念病院が開設されました。

（昭和 61 年～平成 3 年、バブル景気）

昭和 61 年に天白橋が改築され、幅員が 25 m になりました。また国道 153 号線バイパスの四車線化工事が完成しました。



(昭和 62 年、JR 発足、連合発足)

(昭和 63 年、日米農産物交渉決着、3 年後から牛肉・オレンジ輸入自由化)

(昭和 64 年/平成元年 (1989 年)、平成改元、消費税導入、中国天安門事件、米ソ冷戦終結宣言、リクルート事件)

平成元年に平針北小学校が独立しました。

(平成 2~3 年、湾岸危機・湾岸戦争、ドイツ統一、ソ連崩壊)

平成 3 年に植原橋が竣工しました。

この橋の架かる道路は、計画段階では道路ではなく、地下鉄鶴舞線の高架線路を作る予定でした。集落が分断されてしまうという地元の人々の反対で、地下鉄は高架ではなく地下に通すことになりました。そのため線路用地は道路となりましたが、橋の建設は遅っていました。



(平成 5 年、自民党政権を失う、米大凶作)

平成 6 年に一周 1 8 0 m の国道 3 0 2 号線歩道橋が完成しました。



(平成 7 年、阪神淡路大震災、オウム真理教事件、Windows95 発売)

(平成 1 0 年～、自民党と公明党連立政権)

(平成 1 0 年（1 9 9 8 年）、長野冬季オリンピック)

(平成 1 2 年、東海豪雨)

(平成 1 3 年（2 0 0 1 年）、アメリカ同時多発テロ・アフガニスタン侵攻)

(平成 1 4 年、サッカーワールドカップ日韓共同開催)

(平成 1 5 年、イラク戦争)

(平成 1 7 年、中部国際空港開港、愛知万博（愛・地球博）)

(平成 1 8 年、郵政民営化、三菱東京UFJ銀行合併)

(平成 2 0 年、iPhone 発売、リーマンショック)

平成 2 0 年に並木病院が開設されました。

(平成 2 1 年～2 4 年、民主党政権)

(平成 2 2 年、日本年金機構発足)

平成 2 2 年に環状 2 号線（国道 3 0 2 号線・名二環）が全線開通しました。

(平成23年、東日本大震災、テレビ地上デジタル放送移行)

平成23年に針名神社の参集殿が竣工しました。

(平成26年、御嶽山噴火)

平成28年に平針学区消防団詰所が現在地に移転竣工しました。

(平成28年、熊本地震)

(平成31年/令和元年(2019年)、令和改元、ラグビーワールドカップ日本開催)

(令和2年~5年、新型コロナウィルス流行)

令和2年に平針運転免許試験場の新庁舎が供用を開始しました。

(令和3年、東京オリンピック開催)

(令和4年~、ウクライナ戦争)

(令和5年、イスラエル、ガザ侵攻、ジャニーズ事務所解体、宝塚歌劇団問題)

(令和6年(2024年)、能登半島地震、自民党裏金問題)